時事新報定價
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓
一箇年前金六圓
〇時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ送送スルモノニ限リ本文定價ノ外ニ一箇月二十六錢ヲ差送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金一行ニ付

一行廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上十五日迄	十六日以上
自一行至十行	十錢	八錢	七錢二厘	六錢八厘
自十一行至廿行	九錢	七錢	六錢三厘五毛	五錢九厘五毛
廿一行以上三十行以上	八錢	六錢五厘	五錢八厘五毛	五錢五厘

時事新報

廳府縣後の成迹亦憂とするに足らず

日本全國の運輸交通を便利あして府縣廳を廢するも實際に整支へなる可らずとの次第は前日の紙上に於て既に其大意を陳述したる所なるが偖いよ〳〵之を廢するとして以後は始末如何にすべきやと云へば我輩の所見に於ては中央政府と地方人民との關係を直接ならしめて治者被治者双方既に不都合なかるべしと信ずるあり今其次第を述べんに縱令へ府縣廳を廢するとせよ郡區以下町村の制度に至りては之を今日の儘に存すべきは無論にして更に實際を顧みたらば今の郡區制度にて或は大に過ぐるものあらん或い小に失するもなるべくして其組織權限に至るまで多少の變更もなるる可らず一歩を進めて論ずれば町村の制度と雖もみれよ均しく實際不適當の所なるべけれども改正を要するものにして其手段方法は當局者の考案に存すべき事なれ共此等は一は地方自治郡區町村の獨立と稱すべきものにして例へば學校教育の事の如きも之を郡區に任せ隨意經費の支辨を爲さしめて中央政府より之を監督するものなりとせば中間に居る府縣廳にて特更に地方の學事と世話せるの必要もなかる可し或は一郡一區の經濟あ於て地方事と辨ずるに足らざる場合には聯合共同を許すの方法もあるべし其邊は一切民間の便利自由に任せて政府より之を總轄すれば何等の不便あるべしとは思はざるあり

又府縣廳を廢すると同時に從來これに屬したる事務の省く可きものは勉めて之を省きいよ〳〵止むを得ざるものを殘して中央の直轄に歸し例へば農工商殖産の事は農商務省に衛生の事は中央衛生局に徴兵の事は陸軍省に收稅の事は大藏省に其他各々所屬と以て事務を政府の隷屬せしむるときは事は簡にして官民の間に繁文の苦しみを免るゝの利益ある可き例へば些々たる一片の廻屆々にても人民と中央政府との間あ府縣廳の存するは恰も人の家を訪ふて二重の門に遮られ其門にも名札を出し又面會の目的たる主人の方へも同樣の名札を出して取次を煩ひが如く廻屆けの書面を二樣に認むるは隨分煩はしきとなり又時としては其書面の扣として各二通づゝを作りて四通となり尚甚だしきは町村郡區の諸役所を經る事もあり或は警察の方へ關係の事もありて同一樣の意味の書面を八通も十通も認るが如きは今日の慣行として尚その上にも書面には書式ありて式に合はざるものは意味の通不通を問はずして却下せらるゝ之が爲め煩度か役所へ往來して時を費し又心配するかと貴に繁文は場へ歸き折柄、府縣廳の一門入ても之と除き去りたらば是れのみとても餘程の便利あるべし嘗し時是れ實金の賜、果して違ふみとあくんば繁文を除くの利は一國の經濟に實金を得るものと知る可し

又今れ府縣治の實際を見るに各自相互に其方向を殊にして往々撞着を生ずるの事情なきにあらず地方人々の意見次第に任せ或は教育を先にするもあり或は衛生を專にするもあり其外土木警察勸業等ふの〳〵先後輕重の不同を爲すが故に扨日本全國と見るの眼を以て大體上より見渡すときは各府縣の治跡區々にして不都合少なからざるが如し例へば道路の如き此の縣に於ては縣民の全力を竭して見事に成功を告ゲたれとも隣縣は依然として舊遺れたるなるが故に一方は大道砥の如く平にして長しと雖ども縣の境に至りて忽ち崩し恰も袋町の奇觀を呈するものあり又大河の疏水堤防の如きも河に沿ふて各府縣おの〳〵其利害を殊にして協議の困難あるは我輩の每度傳聞する所あり之を要するに日本全國四十に地方廳は封建割據にみそわらざるも其心之則ち恰も四十樣の別あるものにして互に相扶するも尚その施政の方針を一にする能はず遂にい知らず識らずの際に地方全體の不便を蒙ずを免かれざるが故に若しも今日府縣治れ制を廢して政府統一に命令を布くの英斷あらば事れ大小難易みそわれ自から第二の廢藩にして中央の集權はいよ〳〵固く同時ま地方自治れ制度も行はれ易く兩樣相對峙まて官民一般の利益等常あらざる可し

本論の旨趣は今の府縣廳を廢止し郡區を用ひて直接に政府人民間の關係を開くべしと云ふに在るものなれ共或は交通の便未だ不充分なる地方もならんなれば斯る場合には臨時政府より出張所を設くるか但ま地方廳の規模と變ずて暫く其用に供するか此等の實際論に至りては當局者の隨意撰擇に任すべきこと當然にして尚は全國を統一し彼に廢止の擧と行ふ能はざる事情もあらば先づ之を實施して差支る所に始めて逐次全國に及ぼすの工風も亦我輩の異存ある所なり

官報

○海軍省訓令第百十三號

海軍一般

一官役中傷痍ヲ受ケタル者ハ海軍軍醫若クハ海軍軍醫在勤セサル場所ニ在テハ所轄長ノ指命シタル地方醫ヲ以テ診斷シ治療セシムルモノトシ其醫價賄料及體區取扱ニ係ル費用ハ總テ官費ヲ以テ支拂フヘシ但自宅ニ於テ療養スル者ハ賄料ヲ支給セス○一傷病ノ狀態或ハ居宅ノ構造地位等ニ依リ自宅ニ於テ療養セシムヘシ但作業廳患者ヲ除クノ外入院中ノ費用ハ渾テ同院ニ於テ支辨スヘシ○一海軍病院ナキ地方或ハ出張地ニ於テ傷病者アル時ハ地方病院若クハ其他治療場所ヲ指定シ療養セシムルコトヲ得○一前各項ニ依リ療養セシムル者其日數百日迄ハ工夫ハ日給四分ノ一其他ノ者ハ日給若シハ賃金ノ五分ノ一ヲ最上限トシ適宜支給スルヲ得但定傭夫賃金支給定規第二條ニ依ルヘキ者ハ此限ニアラス○一前各項ニ掲ルノ外ハ總テ明治八年四月第五十四號公達ニ依リ現金以テ相當ノ手當ヲ支給スヘシ

明治廿年十月廿二日　海軍大臣伯爵西鄕從道

○東京府令第六十一號

海軍公債及整理公債記名證所有者ノ後見人ニ於テ其記名證書ヲ無記名證書ニ變換又ハ證賣ノトキ及本年（三月）大藏省告示第二十九號ニ依リ六分以上利付記名公債證書ニ引換コトキハ額面總額ノ上區戸長ハ奥印ヲ受ノヘシ

明治廿年十月廿二日　東京府知事男爵高崎五六

○文部省直轄學校學生生徒　文部省直轄學校本年六月末の學生生徒の現員は帝國大學に九百四十四人、高等師範學校に八百五十七人、第一高等中學校に千百五人、第三高等中學校に三百六十一人、東京商業學校に三百五十二人、東京高等女學校に百三十三人、音樂取調掛及訓盲啞院に各々四十四人あり（文部省）

（以上本年十月廿二日官報）

雜報

○電信架設　日本鐵道會社の東北線路なる各停車場用の電信は是迄上野より宇都宮を經て郡山まで架設ありたるが今度郡山以北仙臺迄は各停車場は既に落成に至りたるを以て同社より右の間へ電線架設の事を逓信省管理局へ依頼したるよし

○大坂取引所役員の上京　同所常役員近藤德兵衛氏は創立事件に付其筋へ伺の爲め目下上京中なるが猶又伺所理事士居通夫、田中市兵衛の兩氏は去る二十日同地出發上京の途に上りし由なり其用向は同所實賣取引に係はる事、會員仲買人の規約編纂の事、及其他の件に關せりと云ふ因ま記す兼に同取引所より同府下大鳥郡堺區を大坂取引所商業區に編入するの如何を伺中なりしに去る十八日編入許可の指令を得たるよし

○大坂の小學校　昨年四月勅令第十四號ま甚き改正教育を始めたる以來大坂の教育如何と云ふに明年三月試驗實施の上ならでは十分に判定しがたけれども目下先づ進歩の有樣にて生徒は日々に增加ま何れも書來の學校にては狹隘なるを以て諸學校共續々改築に着手するの現況あり又私立學校も昨年以來大に增加ま現今市街接近の郡村にい大小合すきば凡二百四十校もありて是等の私立學校は多くい英學を專務とするものあり且つ又府知事は此程四區内小學校へい商業科、郡部の小學校へは農業科と設けては如何と諮問せしに何れも之と設くるの適當なる旨と回答しなりと云ふ

○福岡煉化會社　同社は開業以來孜々其製造に勉强せし甲斐ありて燒き出す煉化の石質頗る宜しく世間の評判いと高きよしなるが當時第三海軍區佐世保鎮守府幷に對州竹敷浦水雷營所建築に此煉化石を用ふる事となり社運益々盛んなりと云ふ

○大坂の土木　大坂にて目下着手或い將に着手せんとする土木工事は第一大坂港灣改築、第二水道敷設、第三道路取廣げ市區改正、第四電氣燈設置、第五公園地取廣げ、第六南區名護町移轉、第七各花街移轉、第八劇場改築、第九監獄署改築、第十淀川筋水防等にして右の内監獄署の改築は既ま着手しなるも他は總て目下計畫中なり中にい官民共同して實行するもあるべま或は民設會社の事業とするもあるとならん而して是等の工事急々實施されて其成功と見るに至らば大坂の景況は一變するとならんと雖ども顧て住民の有樣を見れば依然たる昔日の素町人にて未ず文明風ま化せざる者多きは歎かはしき次第なりと同地よりの報に見ゆ

○大坂に於ける絹布類の價格　本年春來は全國とも何となく景氣回復の商況なるま上諸作物豐熟なるが爲め農家の購買力ま七八月以來目立ちて增加したる内にも殊に九州中國辺より大坂に注文し來る品は何に寄ト走三四割方の增加ある故其價格も二三割方ま騰貴したり既に絹布類は最も著ま況ものにて近頃の調査に依れば其價格は左の如くありといふ○綿實綿一疋に付上等八圓三十錢、中物七圓、下物五圓八十錢○武州絹織一疋に付上八圓、中七圓、下五圓七十五錢○岸納戸上四圓、中三圓六十錢、下三圓二十錢○郡内縞一疋に付上八圓、中五圓、下四圓三十錢○大和縞一疋に付上五十錢、下三圓五十錢、中七圓、下六圓下七圓○帶地西陣織上八十錢、下四圓同中錢、下一圓九十錢○同上一圓、下二圓六十錢、下九十五錢位なり

○日本橋魚市場市況　市況總て漁獲少く爲め殊にサヾミ類幷に活意の外へは賣らざる類出廻はり入津も多く十五日よりは再び上に至り又々入津の魚等十貫目八圓位、キス十錢、活尺鯛上等一尾ナリ同八錢、鰡大同一圓、八錢、生鮭大同一圓、兩鮫十貫目四圓位の不廉の姿なりしが去も下向さとなりし

○新刊書　近時學術人ヲユール　ベルスいれたるもの數種なる鐵世界も同氏の作に壽の法を究めて長壽形風土の申分なき所爲さんとそを獨逸を以て其近傍に鑛鐵して偉大の大砲を鑄村を碎かんとそを趣壽村繁昌とそなすまで一極平易に解し易く有り發賣所は神田小義は英國に有名なる士今外三郎氏が譯述益々廣大あれども亦さるものなれば急々をなもに至るべき歟如きは文明に通實ある分明あり定價の四其他にて賣捌く人經受戒品の支那譯を僅身橋梯といふ書中書院より發行すの舉幹祭の儀式由來等と飾へふり夏期所の講演、政學支部にあるを政學部講義は五日に執れも其第一曜日に法學部講義は普及を計る爲め發兌